学校番号	３２２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次 （普通科）
使用教科書	「新編論理国語」　（東京書籍）						
副教材等	現代文解法のテクニック速読×多読（啓隆社）　書きたくなるアシスト常用漢字定着ノート（数研出版）　改訂版プレミアムカラー国語便覧デジタル版（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に論理的文章を読み、筆者の伝えたい事柄を正確に読み取り、また自身の考えを論理的に文章にする力を育成します。そのため、漢字や語句に関する正しい知識を併せて学習します。さらに、自身の考えを効果的に伝えるための協働的な学習が含まれます。
・家庭学習における課題については、定期的に提出を要します。そのため計画的に学習を進めていきましょう。また、授業時には板書事項だけでなく気づいた点や気になった点を書きとめ、主体的に授業に参加するようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会において必要な論理的に書き、批判的に読む基礎を習得し、適切に読んだり書いたりすることができる。	情報の妥当性や信頼性を正しく吟味し、適切に文章を読解することができる。また、自身の考えを基に多面的かつ多角的な意見を持ち、正しく論述することができる。	正確な言葉に対しての知識を習得し、言葉を巧みに用いながら、自身と他者の文章を読み比べたり批評しあったりすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 ［教材］ 「対話とは何か」 「世界をつくり替えるために」	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b［　読　］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、学習課題に沿って自分の生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめ、話し合おうとしている。 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	挙げられている話題を関連づけて読み取り、考えを深める。 ［教材］ 「『ふしぎ』ということ」 「学ぶことと人間の知恵」	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b［　読　］：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
二学期	表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ［教材］ 「思考の肺活量」 「安心について」	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［　読　］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：粘り強く比喩によって表現された筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 ［教材］ 「弱肉強食は自然の摂理か」 「複数の『わたし』」 資料を整理し、テーマを吟味しよう	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b［　読　］：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 b［　書　］：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を揃えている。 c：粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、学習課題に沿って筆者の捉え方について理解し、ものの見方を広げようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

三学期	文章に取り上げられた事例をもとに、内容の理解を深める。 ［教材］ 「はじめに『言葉』がある」 「楽に働くこと、楽しく働くこと」 仮説を立てて検証しよう	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 b[　書　]：多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを、学習課題に沿って理解し、「働くよろこび」について自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　40　）時間